

## ＜ 状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例 ＞

### ■事例演習の達成目標

- ①主観的事実・客観的事実から、居宅サービスでの在宅生活の限界点を見極めることができるアセスメントの視点を指導することができる。
- ②利用者の状態に応じて地域密着型サービスや施設サービスと連携し、それらのサービスを活用する視点を指導することができる。
- ③地域における多様な社会資源やインフォーマルサービスなどの情報収集の手段を把握し、自地域における足りない社会資源の開発や地域づくりについて、保険者へ政策提言できるように指導することができる。
- ④状態に応じた多様なサービスの活用に対する課題や不足している視点に気づき、自己覚知ができる

### ■事例を選定する際の視点

■状況に応じ地域密着型サービス、施設サービスなどの多様なサービスを活用している指導事例または指導したことで地域密着型サービス、施設サービスなどの多様なサービス利用につながった指導事例

①医療依存度が高いため、定期巡回・随時対応型訪問介護看護や看護小規模多機能型居宅介護等を利用している指導事例。

②小規模多機能型居宅介護が有効に利用された指導事例  
・サービスが導入しづらい利用者の利用につながった指導事例

・ショートステイ等を利用したことで精神的に不安定な状態にある利用者の不安が解消された指導事例

③認知症の BPSD のため家族介護では支えきれず、認知症対応型共同介護を利用しようとする又は利用している指導事例。

④認知症の BPSD や家族介護力の低下、疾患や重度の心身機能障害等により、施設サービスを利用しようとする又は利用している指導事例。

⑤リハビリテーションの必要性から一定期間老人保健施設を利用しようとする又は利用している指導事例。

施設介護支援専門員の方は、他の施設介護支援専門員の担当している指導事例でも良い。

### ■提出する事例を上記の指定された類型とする理由

{地域密着型サービス[(看護)小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、認知症対応型通所介護、地域密着型通所介護、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)、地域密着型特定施設入居者生活介護、地域密着型介護老人福祉施設]、施設サービス[介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、介護老人保健施設、特定施設(有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム)]等}の活用に関する事例

記入例：現在利用しているサービスでは在宅介護が難しくなり、小規模多機能型居宅介護へ移行した事例を指導した等